

【大会主催】(2021 - 22年度)

- 2) 第52回日本リハビリテーション医学会近畿地方会. 地方会幹事: 大串 幹. 2023.03.05, 神戸.
- 1) リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫2021. 大会長: 大串 幹. 2021.11.18-19, 神戸.

【国際学会】(2019 - 22年度・筆頭演者のみ)

- 2) WHO Symposium Assistive Technology for Aging Society. Takaaki Chin. 17th World Congress of the INTERNATIONAL SOCIETY FOR PROSTHETICS AND ORTHOTICS. 2019.10.05-08. Kobe (Workshop)
- 1) Successful recovery from severe dysphagia in elderly patients of Wallenberg syndrome by traditional swallowing therapy and a new VitalStim®-CombinAted Multiple saliva swallowing Practice (Vital CAMP). Mutsumi Fujii, Toshiyuki Takata, Hirokazu Yamamoto, Seiko Samejima, Tetsuro Kurashina, Miki Ohgushi, Takaaki Chin. ISPRM 2019. 2019.07.10. Kobe (Oral presentation)

【国内学会・講演】(2019 - 22年度・筆頭演者のみ)

- 54) 回復期病棟でリハビリテーションを要したくも膜下出血患者の運転再開状況について. 富士井 睦, 大串 幹, 陳 隆明. 第52回日本リハビリテーション学会近畿地方会. 2023.03.05. 神戸 (口演)
- 53) COVID-19後に下位脳神経障害を伴う重度嚥下障害を呈した1例. 富士井 睦, 大串 幹, 中村 謙, 村上佳史, 横山光洋. 第52回日本リハビリテーション学会近畿地方会. 2023.03.05. 神戸 (口演)
- 52) 重症COVID-19患者に対する入院リハビリテーションの心理面に対する効果. 富士井 睦, 中村 謙, 日野泰久, 大串 幹, 陳 隆明. 第52回日本リハビリテーション学会近畿地方会. 2023.03.05. 神戸 (口演)
- 51) ボツリヌス療法のスキルアップについて～専攻医視点からの課題. 中村 謙, 村上佳史, 富士井 睦, 大串 幹. 第52回日本リハビリテーション学会近畿地方会. 2023.03.05. 神戸 (口演)
- 50) 脳卒中歩行訓練における長下肢装具への工夫. 村上佳史, 中村 謙, 富士井 睦, 大串 幹. 第52回日本リハビリテーション学会近畿地方会. 2023.03.05. 神戸 (口演)
- 49) 医療安全にかかわるチームビルディング - 病院機能評価受審を通じた気づきと改善-. 大串 幹. 回復期リハビリテーション病棟協会 第41回研究大会 in 岡山. 2023.02.24. 岡山 (シンポジウム)
- 48) 外来で行うボツリヌス毒素治療の実際. 大串 幹. 痙縮治療セミナー in 兵庫西. 2023.01.21. 姫路 (口演)
- 47) 兵庫県総合リハビリテーションセンターにおける実車評価の歴史と運転再開後の安全運転状況. 富士井 睦, 寺尾貴子, 津田明子, 柴田八衣子, 掘井好典, 大串 幹, 陳 隆明. 第6回日本安全運転医療学会. 2022.12.17. 北九州 (シンポジウム)
- 46) リハビリテーション軸で考える地域完結型医療～疼痛管理の重要性を含めて～. 大串 幹. 脳卒中 Total Care Web Seminar. 2022.11.15. Web (口演)
- 45) 回復期病棟における脊髄障害患者リハビリテーションの現状や問題点 脊髄障害患者のベストプラクティス構築のために. 大串 幹. 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2022.11.05. 岡山 (シンポジウム)
- 44) リハビリテーションを行った重度中途視覚障害例の転帰. 富士井 睦, 大串 幹, 中村 謙, 村上佳史, 奥田志保, 一角朋子, 倉科徹郎, 陳 隆明. 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2022.11.04 岡山 (口演)
- 43) 切断のリハビリテーション医療 -最新情報と未来に向けて-. 陳 隆明. 第6回日本リハビリテ

ーション医学会秋季学術集会. 2022. 11. 04-06. 岡山 (教育講演)

42) リハビリテーションを行った重症 COVID-19 患者 20 例の治療成績と後遺障害. 富士井 睦, 中村 謙, 日野 泰久, 大串 幹, 陳 隆明. 第 74 回兵庫県医師会医学会. 2022. 10. 16. 神戸 (口演)

41) 重度視覚障害と高次脳機能障害の重複障害例に行ったりリハビリテーションと転帰. 富士井 睦, 大串 幹, 中村 謙, 村上佳史, 倉科徹郎, 陳 隆明. リハビリテーション・ケア合同研究大会 苫小牧 2022. 2022. 10. 01 苫小牧 (口演)

40) リハビリテーションを要したくも膜下出血患者の実車による運転適性評価結果. 富士井 睦, 大串 幹, 陳 隆明. 第 81 回日本脳神経外科学会. 2022. 09. 28. 横浜 (デジタルポスター)

39) 主に準備期から咽頭期障害を呈した重症 COVID-19 後の嚥下障害の 1 例. 富士井 睦, 菊川桂樹, 和田佳子, 山本寛和, 大串 幹. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会. 2022. 09. 23. 千葉 (口演)

38) リハビリテーション軸で考える地域完結型医療～疼痛管理の重要性を含めて～. 大串 幹. 脳卒中シームレスケア連携 WEB セミナー. 2022. 07. 14. Web (口演)

37) これからの義肢装具と義肢装具士の役割について. 陳 隆明. 第 28 回日本義肢装具士協会学会. 2022. 07. 09-10. 岡山 (特別講演)

36) リハビリテーションを行った重症 COVID-19 患者 17 例の治療成績と後遺障害. 富士井 睦, 大串 幹, 高原佳央里, 中村 謙, 陳 隆明. 第 59 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2022. 06. 25. 横浜 (口演)

35) 日本リハビリテーション医学会男女共同参画白書 2022. 浅見豊子, 小口和代, 中馬孝容, 浅野由美, 大田哲生, 加藤真介, 金内ゆみ子, 黒木洋美, 蜂須賀明子, 藤原清香, 三上靖夫, 堅山佳美, 戸田芙美, 西坂智佳, 植木美乃, 大串 幹, 土岐めぐみ, 藤谷順子, 降谷芳子. 第 59 回日本リハビリテーション医学学術集会. 2022. 06. 23. 横浜 (シンポジウム)

34) 義肢装具に関するエビデンス、これからの義肢装具療法と義肢装具士の役割について. 陳 隆明. 第 59 回日本リハビリテーション医学学術集会. 2022. 06. 23-25. 横浜 (シンポジウム)

33) リハビリテーション軸で考える地域完結型医療～地域リハビリテーションの課題～. 大串 幹. 山形脳卒中リハビリテーションセミナー2022. 2022. 06. 17 山形 (特別講演)

32) リハビリテーションを要したくも膜下出血患者の実車による運転適性評価結果. 富士井 睦, 大串 幹, 高原佳央里, 中村 謙, 陳 隆明. 第 47 回日本脳卒中学会. 2022. 03. 17. 大阪 (デジタルポスター)

31) リハビリテーション科医を活用する～急性期・痙縮治療から就労支援・地域リハまで～. 大串 幹. 日本リハビリテーション病院・施設協会 WEB 教育セミナー. 2022. 02. 14. (教育講演)

30) COVID-19 に伴う動脈血栓により大腿切断に至った高齢者に対する義足リハビリテーション治療経験. 中村 謙, 戸田光紀, 大島隆司, 大串 幹. 第 50 回日本リハビリテーション医学会近畿地方学術集会. 2022. 02. 12 Web (口演)

29) 使用者指向の装具療法. 大串 幹. 第 5 回日本リハビリテーション医学会秋季学会. 2021. 11. 13. 名古屋 (教育講演)

28) Post COVID-19 患者のリハビリテーションにおける医師の役割. 富士井睦, 岡野生也, 柴田八衣子, 菊川桂樹, 岡崎直子, 大串 幹, 陳 隆明. リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫 2021. 2021. 11. 18. 神戸 (口演)

27) 障がい者のリハビリにおけるロボットの活用. 陳 隆明. リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫 2021. 2021. 11. 18. 神戸 (教育講演)

26) Let's Integrate! ～リハビリテーションの心技体～. 大串 幹. リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫 2021. 2021. 11. 18. 神戸 (会長講演)

25) 地域包括ケアシステムの深化に資するリハビリテーション科医のスキル. 大串 幹. 第 58 回日本

- リハビリテーション学会. 2021.06.11. 京都 (シンポジウム)
- 24) リハビリテーション医療においてロボットを安定的に運用するために. 陳 隆明. 第58回日本リハビリテーション学会. 2021.06.10. 京都 (指導医講習会)
- 23) 血清CK値を指標にリハビリテーションを実施した慢性期重症ギラン・バレー症候群の一例. 高原佳央里, 奥田志保, 福田 明, 井元万紀子, 一角朋子, 上野正夫, 原田航輔, 戸田光紀, 富士井睦, 高田俊之, 大串 幹. 第58回日本リハビリテーション学会. 2021.06.10. 京都 (口演)
- 22) 使われる装具、使いたい装具. 大串 幹. 第10回桜山リハビリテーション研究会. 2021.02.06. Web (教育講演)
- 21) 地域リハビリテーション ～理念を活かす、人を活かす～. 大串 幹. 第44回茨城県リハビリテーション病院・施設協会講演会. 2020.01.16. 茨城 (特別講演)
- 20) 移動能力を伸ばすリハビリテーション科医の視点. 大串 幹. 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2020.10.15-17. 岡山 (シンポジウム)
- 19) 小児の装具療法について. 大串 幹. 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2020.10.15-17. 岡山 (生涯教育研修講演)
- 18) ロボットを活用したリハビリテーション医療を実践するために. 陳 隆明. 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2020.10.15-17. 岡山 (教育講演)
- 17) 地域包括ケアを支える地域リハビリテーション支援体制を進めるために. 大串 幹. 令和2年度京都府リハビリテーション教育センター第15回座学研修会. 2020.10.03. Web (講演)
- 16) 地域包括ケア社会で活かすリハビリテーション科医のスキル. 大串 幹. 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2020.08.19-22. 京都 (シンポジウム)
- 15) あるべき未来の四肢切断に対するリハビリテーション医療. 陳 隆明. 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2020.08.19-22. 京都 (教育講演)
- 14) 当院における cryptogenic stroke に対する血栓性素因の検討. 富士井 睦, 大串 幹, 早川みち子, 奥田志保, 陳 隆明. 第42回日本血栓止血学会. 2020.06.18-20. 大阪 (ポスター)
- 13) 転院後に多系統萎縮症が判明し、リハビリテーション治療のゴール変更を要した外傷性頸髄損傷の1例. 原田航輔, 戸田光紀, 大串幹, 奥田志保. 第48回日本リハビリテーション医学会近畿地方学術集会. 2021.03.28 Web (口演)
- 12) リハビリテーションと医療制度～知って得する!! 入院・リハビリ・その他のくらし～, ① 脳卒中にまつわるここだけの話. 富士井 睦. 兵庫県立リハビリテーション中央病院 令和元年度県民公開講座. 2020.01.18 明石 (講演)
- 11) ロボットリハビリテーションーその可能性ー. 陳 隆明. 令和元年度第2回神戸大学整形外科同門会生涯教育学術講演会. 2020.01.11. 神戸 (特別講演)
- 10) 兵庫県立福祉のまちづくり研究所が考える役に立つモノづくりと開発事例, 障害者自立支援機器. 陳 隆明. シーズ・ニーズマッチング交流会 2019. 2019.12.17. 大阪 (基調講演)
- 9) ロボットリハビリテーションの現状と未来. 陳 隆明. 第87回山形整形外科研究会. 2019.11.23. 山形 (特別講演)
- 8) 能動義手ー役割と限界ー. 陳 隆明. 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2019.11.15-17. 静岡 (専門医委員会切断義肢SIG企画シンポジウム)
- 7) 大腿切断と義足. 陳 隆明. 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2019.11.15-17. 静岡 (教育講演)
- 6) 下肢切断者を対象とした義手訓練開始前後の健康関連 QOL 調査ーEQ-5D-5L を用いてー. 倉科徹郎, 戸田光紀, 大串 幹, 橋本 靖, 陳 隆明. 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2019.11.15-17. 静岡
- 5) 痙縮に対するボツリヌス療法と装具療法. 大串 幹. 第6回日本ボツリヌス治療学会学術大会.

2019.09.27-28. 東京(シンポジウム)

4) AI 技術を活かすための医工連携フィールドの重要性—ロボットリハビリテーションセンターの役割—. 陳 隆明. 2019 年度特別フォーラム～Society 5.0 がめざす新しい社会～. 2019.09.20. 大阪 (特別講演)

3) 私の地域リハビリテーション. 大串 幹. 全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ひょうご 2019. 2019.07.13-14. 神戸 (会長講演)

2) 四肢切断のリハビリテーション医療—テクノロジーの進化とリハビリテーション医療の葛藤—. 陳 隆明. 第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2019.06.12-16. 神戸 (教育講演)

1) 上肢切断者を対象とした義手訓練開始前後の健康関連 QOL 調査—EQ-5D-5L を用いて—. 倉科徹郎, 戸田光紀, 大串 幹, 橋本 靖, 陳 隆明. 第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2019.06.12-16. 神戸

【著書・論文・その他】(2019 - 22 年度・筆頭筆者のみ)

29) 陳 隆明. 義足の種類と処方, 四肢切断術のすべて (田中康仁, 富村奈津子 編集). メジカルビュー社. 2023; 34-47 (分担執筆)

28) 陳 隆明. あの専門病院の義足リハビリテーション - 当院における義足のリハビリテーションプログラム. 日本義肢装具学会誌. 2023;39(1): 38-42 (原著)

27) 大串 幹. 書評「脳卒中の下肢装具 第 4 報「-病態に対応した装具の選択法」(渡辺英夫, 平山史郎, 藤崎拓憲 著). 総合リハビリテーション. 2023; 51(2):152 (その他)

26) 大串 幹. 必勝のための工夫 Know More About Rehabilitation. ORTHO times. 2023; 16(2):8 (その他)

25) 富士井睦, 岡野生也, 柴田八衣子, 菊川桂樹, 岡崎直子, 大串幹, 陳隆明. 呼吸リハビリテーションを行った重症 post COVID-19 例の治療成績と後遺障害. 総合リハビリテーション. 2023;51: 207-212 (原著)

24) 富士井睦, 中村謙, 日野泰久, 大串幹, 陳隆明. 重症 COVID-19 患者に対する入院リハビリテーションの心理面に対する効果. 兵庫県医師会医学雑誌. 2023; 65(2):18-21 (原著)

23) 大串 幹. 日本リハビリテーション医学会男女共同参画白書 2022 (浅見豊子, 小口和代, 中馬孝容, 浅野由美, 大田哲生, 加藤真介, 金内ゆみ子, 黒木洋美, 蜂須賀明子, 藤原清香, 三上靖夫, 堅山佳美, 戸田芙美, 西坂智佳, 植木美乃, 大串 幹, 土岐めぐみ, 藤谷順子, 降谷芳子 著). Jpn. J. Rehabil. 2022;59(10): 1062-1064 (その他)

22) 陳 隆明. ロボットを活用したリハビリテーション医療を実践するために. Jpn J Rehabil Med. 2021; 58: 1034-1040. (原著)

21) 陳 隆明. 特集 高齢者リハビリテーションの羅針盤. 高齢者の切断におけるリハビリテーション. Journal of CLINICAL REHABILITATION (特集号). 2021; 30(13): 1378-1383 (原著)

20) 陳 隆明. 労災患者に対する電動義手. 臨整外. 2021; 56: 905-910 (原著)

19) 陳 隆明. 切断. リハビリテーション医学テキスト [改訂第 5 版] (出江 紳一, 加賀谷 齊 編集). 南江堂. 2021; 327-342 (分担執筆)

18) 陳 隆明. 義足. 義肢装具のチェックポイント第 9 版 (日本整形外科学会, 日本リハビリテーション医学会編). 医学書院. 2021; 110-171 (分担執筆)

17) 陳 隆明. 義手 (電動義手を含む). 義肢装具のチェックポイント第 9 版 (日本整形外科学会, 日本リハビリテーション医学会編). 医学書院. 2021; 82-83, 90-95, 102, 107-109 (分担執筆)

16) 陳 隆明. 切断とリハビリテーション治療. 義肢装具のチェックポイント第 9 版 (日本整形外科学会, 日本リハビリテーション医学会編). 医学書院. 2021; 37-79 (分担執筆)

- 15) 大串 幹. 令和3年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 地域リハビリテーション体制推進に向けた実態調査事業 報告書. 2022年3月.
https://www.rehakyoh.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/r03rouken_report.pdf (その他)
https://www.rehakyoh.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/r03rouken_reportref.pdf (その他)
https://www.rehakyoh.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/r03rouken_seminarhandout.pdf (その他)
- 14) 富士井睦, 寺尾貴子, 津田明子, 柴田八衣子, 掘井好典, 大串 幹, 陳 隆明. 実車評価にて運転適性ありと判断した脳卒中・脳外傷者のその後の交通事故状況. 総合リハビリテーション. 2021; 49: 889-895 (原著)
- 13) Mutsumi Fujii, Kazumi Tanigo, Hirokazu Yamamoto, Keijyu Kikugawa, Masayuki Shirakawa, Miki Ohgushi, Takaaki Chin. A case of dysgraphia after cerebellar infarction where functional NIRS guided the task aimed at activating the hypoperfused region. Case Reports in Neurological Medicine. 2021; 23:6612541 (原著)
- 12) 大串 幹. 令和2年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業: 地域リハビリテーション体制の活動マニュアル等の作成事業 報告書 第3章調査考察 pp86-97, 2021.
<https://www.rehakyoh.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/r02report.pdf> (その他)
- 11) 大串 幹. 令和2年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業: 地域リハビリテーション体制の活動マニュアル等の作成事業 調査サマリ 2021. https://www.rehakyoh.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/summary_rouken2020.pdf (その他)
- 10) 大串 幹. 脳卒中上肢痙縮に対する装具療法 -ボツリヌス療法に関連して-. 日本リハビリテーション医学会誌. 2020; 57(9): 810-820 (原著)
- 9) 大串 幹. リハビリテーション医療は「想像・夢」に. 日本リハビリテーション医学会誌. 2020; 57(5): 380 (巻頭言)
- 8) 大串 幹. 日本ボツリヌス治療学会学術大会学会参加記. 日本リハビリテーション医学会誌. 2020; 57(2): 186 (その他)
- 7) 大串 幹. 併存疾患をもつ高齢者の骨折のリハビリテーションのコツ 編集企画にあたって. MB Medical Rehabilitation. 2020; 255: 前付1 (その他)
- 6) 大串 幹. 足関節および足部の障害に対する装具治療(療法)の現状と処方上のポイント. MB Medical Rehabilitation. 2020; 254: 176-182 (原著)
- 5) 大串 幹. 「グローバル, ドメスティック, ローカル, コミュニティ再考そしてファクトフルネス」. 日本リハビリテーション病院施設協会誌. 2020; 177: 3 (巻頭言)
- 4) 陳 隆明, 清野 智. TOP INTERVIEW 日本政府観光局 X MICE アンバサダー ビジネス機会を創出する国際会議の意義と効果. 日経ビジネス. 2020; 2027: 58-59 (その他)
- 3) 陳 隆明. 特集2 ISPO 17th WORLD CONGRESS 第17回国際義肢装具協会世界大会 (ISPO 世界大会 2019) を終えて. 日本義肢協会誌. 2020; 121: 26-27 (その他)
- 2) 陳 隆明. 特集 義肢装具へのテクノロジーの導入 コンピュータ制御を応用した義足. 総合リハ. 2019; 47(10): 941-945 (原著)
- 1) 陳 隆明. 切断. リハビリテーションにおける評価 Ver. 3. 上月正博, 正門 由久, 吉永勝訓編. 医歯薬出版株式会社. 東京. pp352-355. 2019 (分担執筆)

※高田医師の業績は内科、戸田医師の業績は整形外科を参照のこと。